東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称							実施主体		
区域情報発信事業							東区役所企画総務課		
事業目的			事業効果		活動指標		R2	R3	R4
東区内の見どころを歩きながら楽しむことができる「東区わくわく散策マップ」等を活用し、地域情報を発信することで、区域の散策を通じた東区の地域資源に対する関心の向上、世代間交流			てらせる、安心・安全なまち」の達成 世代間交流の促進を通じた、「人と人がつながり、賑わいのあるまち」の達成 地域資源への関心向上を通じた、「歴史・文化		わくわく散策マップ 年間配布部数		2,000	1,800	1,540
の促進及び健康増進等を図る。 また、避難所の場所やハザードマップ等の防災情報を発信し						く散策マップHP (設置後1ヶ月)	290件	94件	115件
平時の防災意識向上と災害発生時の安全確保を図ることで、区域の防災力の向上を図る。			をつむぎ、育むまち」の達成		ステッカー掲示 配布数ベース)	1	_	224	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		•	④効率性		
	いいます。 では、	要性があ マップを配布し、同マップの要点を		資源を楽し プ及びサイ である。 二次元コー のウェブサ	区域の見どころを写真とともに紹介し、地域 資源を楽しみながら健康増進ができる当マップ及びサインは区域の特色を活かした事業 である。 二次元コードステッカーと項目を絞った専用のウェブサイトによる情報発信は区独自の 取組である。		健康への関心が高い区民が集まる初芝体育館にウォーキングコースの提案となる看板を設置したことで相乗効果が得られている。 ステッカーについては自治会、区内公共施設及び郵便局の協力に基づき、各主体において視認性を考慮して掲示いただいており、効率性が高い。		
⑤自立発展性		総合評価							
の調整、区外への	は掲載内容の正確性や掲載施設と 区外への情報発信が必要であるためが実施すべき事業である。 「が実施すべき事業である。 「ステッカーについては、今年度も引き続き健康増進や地域資源の理解に活用いただくなど、利用者から好評をいただいており、区内の歴史資源や観光名所などへの関心・愛着の向上や区民の健康増進に役立っている。 ステッカーについては、自治会、区内公共施設及び郵便局で区内に広く掲示いただいており、平常時及び災害時の東区ホームページへの誘導に役立っている。								
今後の方向性(課題、改善提案等)									

継続マ

今後も利用者の方のニーズに応えられるよう、掲載内容の更新を行ったうえで当マップの配布を行う。 マップサイン設置については通行者の多いエリアである鉄道駅周辺を中心に設置しており、未設置である白鷺駅周辺において候補地を検討し、設置を行う。 ステッカーについては、掲示場所の拡大に向けた検討を行う。